

会議結果報告

1 会議の名称

平成 28 年度第 2 回光市環境審議会

2 開催日時

平成 29 年 3 月 23 日（木）15 時から 16 時 10 分

3 開催場所

市役所本庁 3 階第 5 会議室

4 出席人数

委員 11 名（3 名欠席）、事務局 7 人

5 公開・一部非公開の別

公開

6 会議の議事録（要旨）

（1）開会

（2）市長あいさつ

委員の皆様方には 2 年間にわたり、本市の環境について大所高所よりご審議をいただき、心より厚く御礼を申し上げます。おかげをもって、現在、環境についての施策を順調に遂行していくことができていると思っている。

2020 年以降の地球温暖化対策となる「パリ協定」が昨年 11 月、採択からわずか 1 年足らずで発効され、国際社会は本格的な温暖化対策の一步を踏み出した。地球温暖化はたった 1 世紀の人間の活動が招いた結果と言われており、後戻りできないところまできている。こういう時こそ、我々は温暖化に対する強い意志を持ち続けることが重要である。例えば、私たちの日々の省エネ等の小さな積み重ねはパリ協定につながる。そうしたことを市民の皆さんにお願いするとともに、特に子ども達に伝えていくことが重要であると思っている。審議会の任期は終わっても、更なるご支援とご協力をお願いしたい。

（3）会長あいさつ

我々は、これから先、未来に向かっての環境を考えていかなければならない。

本日は 2 つの報告事項があるが、忌憚のない意見をお願いしたい。

(3) 議事

ア 平成 29 年度環境関連施策について

「平成 29 年度環境関連施策」について事務局から要旨を説明

【質疑・意見等】

(委員) 太陽光発電の補助金額の縮減理由について、設置単価が下がっていることは理解するが、近年は売電収益も下がっており、設置にかかるコストに対して回収が長期間必要となる可能性があるため、これでは設置促進は後退するのではないか。

(事務局) 山口県内の太陽光発電への補助状況は、現在、県のみが行っており、市町では本市だけである。こうした中においても、減額はするが、補助を継続することで太陽光発電への取組みを引き続き促進していくことについてご理解いただきたい。また、コストよりも環境対策だと考えている。

(委員) アルゼンチンアリの生息域は拡大しているのか。

(事務局) 防除地域内で、生息数が減少したり、逆に増えている場所等はあるが、生息エリア全体が広がったということはない。また、市内全域のモニタリング調査も行っており、その結果からも、生息エリアが広がっていないことが確認されている。

(委員) ごみの減量化やリサイクル促進をテーマとした環境学習出前講座について、要請があって出向くのか、市からお願いして出向いているのか。

(事務局) 中学校については、希望を伺い、文化祭等にこちらから出向くことにしている。小学校は、小学 4 年生を対象に、原則毎年出向いている。幼・保育園は、2 年に 1 回出向くように決めている。

イ 光市の環境について

「光市の環境」について事務局から要旨を説明

【質疑・意見等】

(委員) 大気環境、浮遊粒子状物質について、環境基準を超えた時間数に値があるが、問題ないのか。

(事務局) 市の測定結果において、1 時間値で環境基準を超えた時間数に値はあるが、長期的評価による環境基準においては適合しており、問題ない。

(委員) 水環境、大腸菌群数について、毎年のように環境基準に適合しない状況であれば、市として新たな対策を実施しなければならないのではないか。

(事務局) これまで、下水道の普及や合併浄化槽の設置に対する補助など、水環境の保全のための取組みを進め、水質は大きく改善されてきた。しかしながら、大腸菌群数については、なかなか改善できていない状況にある。今後も下水道の普及等の取組みを継続実施していく。

(委員) 大腸菌群数の低減に向けた取組みについては、私が委員になった当初から何度も提言等しており、様々な試みについても検討してきたが、環境基準を満たすまでの改

善はなされていない。島田川については、光市内だけの問題ではなく、また、一般家庭からの排水のほか、畜産業の事業活動等にも関わるため、なかなか難しい。

（委員）土壤環境、市内浅江地区モニタリング調査結果について、有害物質が検出されるようになった原因は判明しているのか。

（事務局）現在も原因は判明していないが、様々な規制が緩かった時代に、工場からの排水により汚染されたものと推測される。

（委員）環境基本計画の進捗状況の報告のうち、街路灯の省エネルギー化の推進で、水銀ランプから高圧ナトリウムランプへの改良促進とあるが、市が進めている LED 化との整合はいかがか。

（事務局）防犯灯は市内一斉に LED 化したところであるが、街路灯は対応製品が少なく高価であるため、現時点ではナトリウムランプへの交換で対応しているところである。今後の検討課題と考えている。

（委員）防犯灯はかなり明るいがワット数はどの程度変わったのか。

（事務局）平均的なもので 23W が 9W に変わり、温室効果ガス削減量が 65% カットになると聞いている。

（委員）防犯灯は何年もつのか。

（事務局）今回の防犯灯は 10 年リースのため、故障等の対応については、10 年間は市に連絡すれば大丈夫になっている。

ウ その他について

（事務局）

次期審議会の開催について、準備を進めていることを説明。

（4）閉会

（部長あいさつ）

今年度末に策定の第 2 次総合計画では、LED 化の促進を重点項目に掲げている。また、来年度はリーディングプロジェクトの改定も控えている。こうした中、今後の参考となる、様々な視点、観点からの貴重なご意見をありがとうございました。